

2018年1月11日

各 位

旭化成株式会社

リチウムイオン二次電池用セパレータの生産能力増強について

旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小堀 秀毅）は、このたび、リチウムイオン二次電池（LIB）用セパレータ※「セルガード™」および「ハイポア™」の生産能力増強を決定しましたので、お知らせします。

* LIB の正極・負極間に位置する多孔質膜で、正極・負極間でリチウムイオンを透過させる機能を有するとともに、正極と負極の接触を遮断し、ショートを防止する部材。

1. 背景

LIB 市場は、電気自動車等の車載用途を中心に、急速に成長しています。当社グループは、LIB 用セパレータとして「セルガード™」と「ハイポア™」を有し、乾式膜と湿式膜の双方を手がけるメーカーとしてグローバルリーディングポジションを確立しています。現在、乾式膜は米国ノースカロライナ州に、湿式膜は滋賀県守山市、宮崎県日向市および韓国に生産拠点を置き、積極的な事業拡大を図っています。このたび、2020 年までに約 11 億m²/年の供給体制を整備する 2016 年 5 月発表の計画に従い、下記の設備増強を決定しました。

2. 能力増強の概要

設備投資額 約 75 億円（下記 a), b) の合計）

a) 乾式膜「セルガード™」

- (1) 立地 米国ノースカロライナ州（既存工場内）
- (2) 生產品目 LIB 用セパレータ「セルガード™」
- (3) 増強能力 約 1 億 5,000 万 m²/年
- (4) 稼働時期 2018 年度下期商業運転開始予定

b) 湿式膜「ハイポア™」

- (1) 立地 滋賀県守山市（守山製造所内）
- (2) 生產品目 LIB 用セパレータ「ハイポア™」
- (3) 増強能力 約 9,000 万 m²/年
- (4) 稼働時期 2020 年度上期商業運転開始予定

3. 当社グループの生産能力

当社グループの LIB 用セパレータの生産能力は、今回の増強により乾式膜が約 4 億 m²/年、湿式膜が約 7 億 m²/年、合計約 11 億 m²/年となります。今後も需要の伸びに合わせて積極的な能力増強を行い、お客様の要求に応えてまいります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

広報室 TEL 03-3296-3008